

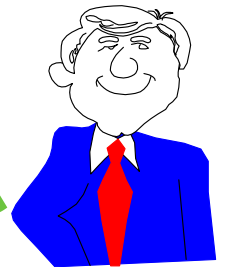
学校情報・生活情報・勉強情報満載!

あむーる

島根県立松江北高等学校 14R学級通信 第8号

No.8

学園祭お疲れさん!
R出し物良かったヨ!



買った人は
よく読んで
頂戴ネ!

What's New



最高

大学の英語授業の様子

～東大は本当に大変だ!

▲岡 秀夫という、英語教育学が専門で、東京大学の教授をしておられた平田高校出身の先生が帰省される度にお話を伺った。この方は東京大学の英語の「授業改革」の中心を務められた先生で、現在、目白大学教授、東京大学名誉教授である。ご著書も多い。奥様はドイツ人で、ご自宅では英語、ドイツ語、日本語が飛び交う。本当にきさくな先生で、東大の英語のことは全部この先生から教えてもらった。島根県出身の東大生をかわいがってくださり、北高の先輩達もずいぶんお世話になったものだ。ダンディでいつも蝶ネクタイでビシッと決めておられた。

夏休みに多くの卒業生が顔を見せてくれたが、毎年のことながら、共通していたのが、「英語の授業がつまらない!」ということ。「高校時代の方がもっと難しくてやり甲斐があった」とのこと。予習などは全くしていなくても、始まる5分前にちょこっとテキストに目を通してあげば大丈夫。あるいは、英語はTOEIC資格の勉強なので、全部コンピュータを相手にやっているとのこと。先生から質問を受けることもほとんどないという。北高の英語授業のレベルの高さが分かったと振り返る。

ここで面白い雑誌を紹介する。『AERA English』(朝日新聞出版)の今月号(10月号)の特集が「大学で磨く 使える英語」だ。大学でどんな授業をしているかが詳しくレポートされているので、英語志望の人は参考にされたい。この雑誌は英語の勉強に役に立つのでオススメ。

そんな中において、唯一「英語の授業が大変だ!」というのが東京大学だ。どれくらい大変なのかを卒業生にレポートしてもらった。よ〜く読まれた。本当に大変だという様子が手に取るようにわかるハズ。東大は「情報発信のための道具」としての英語力を磨く、という一貫した信念が貫かれている。入試問題にもそれはハッキリと見て取れる。京都大学との違いはここにある。

Click 東京大学理科2類 小峰瞳子

東大の授業内容は幅広い分野に渡っており、様々な種類の授業があります。ここでは、英語の授業について紹介しましょう。

英語には、英語I、英語二列、そしてALESSとがあります。

英語Iには、①授業が全て日本語で行われる通常クラス、②授業が全て英語で行われるEnglish-Onlyクラス、③主に教材のリスニングを練習するリスニング重視クラスの3つに分かれており、②または③には希望者のみが振り分けられます。③はリスニングを主に行うので、教材の内容にかかる時間は他の2つに比べれば少ないですが、①と②ではやることはほぼ同じです。私は②のクラスで授業を受けていました。

教科書は、私達一年生は「On Campus」を使用しています。授業は毎週一課ずつ進みますが、予習してくることが前提です。まず教授がその課の主旨を説明され、その課の内容に関する問題が載ったプリントが配られます。問題は「Text Questions」と、「Video Questions」に分かれています。「Text Questions」は教科書の内容把握問題で、「Video Questions」は、その課の内容に合わせて英語I担当教員によってオリジナルで作られたビデオを見てから解く、「ビデオの理解度確認問題」です。最後に、「Open Question」というセクションがあり、英語で提示された質問に対して英語で自分の意見を書きます。そのプリントは提出し、次の週に英作文の添削がなされて返ってきます。

次に、英語二列とALESSについてですが、文系は全員英語二列を履修し、理系は両方を一学期間ずつ履修します。一学期と二学期でどちらを履修するかはクラスによって異なります。私のクラスは、一学期はALESSでしたので、ここではALESSの授業について紹介します。

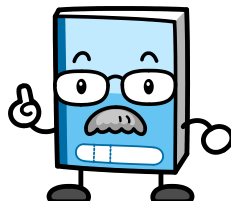
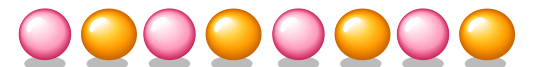
ALESSでは、1クラスは10人程度で、授業が全て英語で行われます。各自簡単な科学実験を選び、その実験を実行し、論文を英語でまとめるという内容です。論文の各セクション(Introduction, Method, Results, Discussion)の書き方は授業で説明され、毎週1セクションずつ書いてくるという宿題が出されます。書いてきたものは次週に、ペアで添削し合う「Peer Review」を行い、お互いの論文の完成度を高めます。最終の授業日には、各自の実験のプレゼンテーションをします。

以上が東大の英語の授業の概要です。少しでも参考になれば幸いです。

最新「センター試験英語対策本2012」が好評である。松江南高校の3年生は全員購入してくれた。米子東高校、出雲高校補習科、大東高校、横田高校、津和野高校、北海道大麻高校、愛知五条高校、神奈川向上高校、京都洛南高校、岡山金光学園、岡山芳泉高校、宮崎日南高校、等、数々の高校で一括購入してもらっている。1日に1200冊の発送作業(封筒書き、袋詰め、切手貼り、梱包、郵便局通い)をした時にはさすがに体調不良を起こしダウンした。今回で10回目の改訂を迎えた訳だが、毎回大赤字を出しながらも、なぜこんなことに頑張れるのか?という、「喜んでくれる人がいる」「待っていてくれる人がいる」からである。人を喜ばしておく、後で必ず自分に返ってくる!長く生きた者にしか分からない実感である。今日も八幡はせつせと郵便局に通う。

- 今回、全国の先生方からいただいた感想などを紹介する。
- ①バラバラめくった所、思わず読みいってしまいます。(K先生)
 - ②先生の生徒を思う心に限界は無く、版を重ねる毎のグレードアップには本当に頭が下がります。今後のご活躍を心よりお祈りし、また、新版を楽しみにしております。(O先生)
 - ③中身が更に充実していて、ビックリです。(H先生)
 - ④先生が精魂傾けて作成されたこの本に感謝です。その上、ところどころにユーモラスな表現があり、思わず笑ってしまいます。本当にありがとうございました。(S先生)
 - ⑤このようにエネルギーにお仕事をしていらっしゃる先生に、励まされて元気をいただいております。先生の御本をもとに、受験生の後半の指導を頑張っていこうと思います。(N先生)
 - ⑥いつものことながら、すばらしい出来だなあと感心しております。(F先生)
 - ⑦わかりやすく盛りだくさん内容で感動いたしました。細やかな気配りが随所にあって、生徒さんへの愛情が感じられました。先生の今までの御経験と御指導からまとめられたものを、このように見せていただけたことは、本当にありがたいことだと思います。(M先生)
 - ⑧本を拝見して参考になるところばかりで、実際に先生の授業をみられたらどんなによいかと思いました。(N先生)
 - ⑨充実した内容でビックリしました。(S先生)
 - ⑩本校の英語科教員も私も、先生の魂のこもった対策本にただ圧倒されるばかりです。(H先生)
 - ⑪あまりの充実ぶりに驚嘆の一言です。しっかりと勉強させていただきます。(K先生)

「センター試験英語対策本2012」の反響



小田和正メッセージ

※図書館に置いてある『AERA』9月5日号に最新インタビューあり。ぜひ読んで!泣けるヨ!!

被害にあわれた人たちその関係者のひとたち、その悲しみ、つらさが想像を遙かに超えて伝わってきて。テレビに映るみんなの顔を見るたびに胸が詰まります。

みんな、家族と自分を大切に守ってください。近くの人と支え合ってください。

そしていつか、きっと、笑顔で会えるその日まで、一緒にがんばりましょう。

小田和正 拝



休むな！遅れるな！



🕒 ～八幡先生が朝早く来る理由はココにあった！！？～ 🕒



日本電産の代表取締役社長の永守重信さんに『人を動かす人になれ！』（三笠書房、¥1333）という名著がある。その昔八幡先生が感銘しながら読んだ箇所を紹介する。本を読むときには赤ペンを持って、線をどんどん引きながら読むのだが、この本は真っ赤かになってしまった。それぐらい参考になる本だった。

今から20年ほど前の話だ。偶然私はある高名な経営コンサルタントに巡り合うことができたので、その先生に経営指導を打診してみた。すると「引き受けるか、引き受けないかは、あるチェックをさせて欲しい」と回答があり、しばらくして「何月何日の朝7時に何う」という連絡があった。そんなに早い時間から何をチェックされるのか、不思議に思っていると、約束の時間からずっと工場の門の前に立ち、社員がどういふ順番に、いったい何時頃に出社してくるのかを観察されていた。

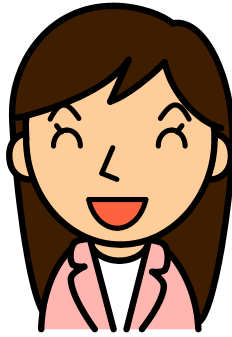
理由を尋ねてみると、「社員の出勤時間の遅い会社はいくら熱心に指導してもよくなる。不良品や在庫を抱えていても、それすら改善することができない」とのことだった。私は早速データをとって見た。そうすると、出勤時間の遅い社員は総じて仕事の成績がよくない。出勤時間ギリギリに寝ぼけ顔で飛び込んでくる社員、遅刻しているのに平然と会社の門をくぐるような社員はまずロクな仕事をしていないことがわかった。

物事の成否は、案外ささいな心がけて決まるものである。そんな心がけの一つが「休まず、遅れず」ということだ。例えば、何らかの事情があって遅れる、あるいは休む。そうすると仕事を与えようとしていた上司の信頼を失い、チャンス逃すことになる。客先からの注文であれば他社に回ってしまうかもしれない。

私は日頃から「夜2時間遅くまで残業をしている人よりも、朝30分早く出社する人を重視する」「よく休む人は信頼も期待もできない」と社員によく話すが、これは小さな心がけが思わぬ成果に結びついたり、逆に致命傷にもなりかねないことを身をもって体験してきたからだ。

心がけという表現をしたが、正しくは「心の余裕、ゆとり」と言った方がいいのかもしれない。何事においてもパーフェクトにできる人間はいない。だが、わずかでいい心に余裕があれば行動を起こす前に、確認もれはないか、手抜かりはないかを確かめてみることができる。ところが、こうしたゆとりがなくていつもギリギリの状態では物事を進めていると、小さなミスもどんどん膨らんでいく。仕事に取り組んでいく上で、この差は非常に大きい。
（下線・太字は八幡）

これについて思い出す先生がいた。八幡が以前勤務していた学校で、朝早く6時50分頃に出勤する新採用の女性の数学の先生がいた。生徒がどんどん質問に来る。生徒の悩みを聞いてあげている。朝の1時間をそんな風にして毎日過ごしている彼女を間近に見ながら、八幡は心の底から応援をしていた。教えているクラスの数学の成績、担任のクラスの総合成績も抜群だった。当然である。子供たちが朝早くからやって来て、苦手な数学を克服しようと必死になっているのだから。中にはやっかみ半分「エーカッコシーだ」と批判をする先生もいたが、八幡は「じゃあ、あなたご自分であの真似ができますか？」と聞くことにしていた。口先ばかりで行動のできない人が多いのは、どの世界も同じである。おそらく今日も彼女は朝7時に生徒と一緒に問題を解いているはずである。生徒の信頼もあつく慕われていた。八幡は松江を離れる際に、彼女に「あむーる」数年分を製本して渡して喜んでもらった。👍👍👍



彼が社長をしている日本電産では、新入社員を採用するときの基準を「情熱・熱意・執念」の三大精神に求める。一流大学を出た人を取ることはしない。入社試験も風変わりだ。

「早飯試験」「大声試験」「便所掃除試験」など世間から響感を買うような試験を課すユニークさ（でもちゃんと裏付けはあるのだ！）。引き続き同書から八幡の注目を引いた部分を紹介する。いいことを言っている。注目！！👀👀👀

私は「運」の活かし方には公式があると思っている。その代表的なものが本書で繰り返し述べていこうと思う「先憂後楽」の精神だ。目の前にいくつも仕事如山積みになっている。できれば明日に回してしまいたい。そこで、楽をとればやはり大きなチャンスを逃してしまうことになるだろう。

壁にボールを投げた時に、勢いがよければボールも勢いよく跳ね返ってくる。弱ければ力のないボールしか返ってこない。上司と部下の心と心のキャッチボールも理屈は同じだ。まず、自分を磨いて鍛え直し、大きな愛情を持って指導を行う。これに意気を感じた部下が期待に応えてくれるのである。自分が投げた力以上のボールが返ってくることはない。

失敗は必ず解決策と一緒に連れてくる。

普段の小さなミスや失敗を見逃しておくから、やがて致命的な失敗が起こるのである。*これも経営者や管理者が人を動かす上で、肝に銘じておかなければならない重要なポイントである。

「ウサギとカメ」の話がある。足の速いウサギとのろまなカメが駆けっこをして、油断したウサギが途中で眠ってしまい、休みなく歩み続けたカメが追い抜いて勝利した、という誰でもご存じの物語だが、現実にはウサギが眠っているときに同じように眠ってしまうカメが大多数なのだ。だから、人を動かすにしても、動かす前に「怠けるカメ」を「怠けないカメ」にしておかなければ徒労に終わってしまう。

厳しさの中にこそ、より深い愛情がある。

上司から叱られない社員は三流以下、一日に五回叱られてやっと二流、十回叱られるようになって初めて一人前の口を利いてもよろしい。

*「ハインリッヒの法則」を知っていますか？



📖「ナリチ」

「永守重信」とは何者？

京都府向日市にて六人兄弟の末っ子として生まれる。1963年、京都市立洛陽工業高等学校を卒業。1967年、職業訓練大学校（現在の職業能力開発総合大学校）を卒業。ティップ、山科精工を経て、ティップの持ち株を元に1973年7月、日本電産を創業。社長を務めて4年での細々としたスタートだった。以後日本電産の代表取締役社長として、同社を日本を代表する小型モーターメーカーに育てた。パソナのハードディスクを動かす精密小型モーターが世界の75%のシェアを持つ世界一企業。優れた技術を持つ経営不振に陥った企業を次々と買収し、子会社化して再建させることで知られる。個人で筆頭株主となり、会長にも就任してそれらの企業を建て直す。「情熱・熱意・執念」「知的ハードワーキング」「すぐやる、必ずやる、できるまでやる」「三つを経営哲学としている。また、日本電産創業時に「同族会社にならない」「下請けはやらさない」「世界に君臨する企業を目指す」という理念を掲げており、それを今も実践している。

インタビューなどでは「仕事が一番楽しい」と答え、1日16時間（余暇と睡眠で合計8時間のみ）、年間365日、元日の午前を除いて働くという。これは「他人の2倍働いて成功しないことはない、倍働け」「絶対に楽してもうけたらあかん」といった、母親からの教えによるものだ。

1978年、日本電産が倒産危機に陥った時、「困ったときの神頼み」で京都の九頭竜大社の神主に鑑定を受けると、運命は来年の節分に変わるから経営を継続するようにとアドバイスされた。やがて翌年の節分に田舎からの大量注文が入り、倒産の危機を乗り越えて急成長していった。と新聞のインタビュで述べている。日本電産の創業期には、会社の規模も小さく、新人採用試験として「大声試験」「早飯試験」「マラソン試験」「試験会場先着順」「留年組専用試験」などユニークな試験を実施したことで有名である。

ハードワーク。これこそが永守の本領だ。掲げた創業精神は、「努力は人を裏切らない」。休むのは正月の朝だけ。毎朝6時50分に出勤し、最低でも12時間働く。社員から届く事務報告などのメールは一日300通以上。土・日曜日にも海外スタッフから500通のメールが届き、ときには、自宅の風呂場に携帯電話を持ち込んで、幹部と話し込むこともあるという。

ウソのような本当の話。3年前、長年連れ添った夫人が思い詰めた表情で永守に迫った。あなた、お願いだから、本当のことを言ってくれ。

「知り合いの医者に言われたんだよ。『あなたの旦那さんは絶対に、麻薬をやっている。そうでなければ、あんな働き方はできない』」と。

永守にクスリはいらぬ。全力投球が自然体なのだ。「経営者は自然体がいちばんいい。社員に対してはお客さんに対して、誰に会っても変わらない。ゆに全力投球。」「楽しいのは、会社がお客さんに対して、新しい社員が入ってくる。買収した会社を再建すること。」永守は、ハードワークも社長業も、心の底から楽しんでやる。

ところが、2008年、その永守がどどん底にたたき落とされた。「アカン。会社が潰れるかもしれない……」。リーマンショックの勃発である。景気の変動をモロに受ける情報機器向けのモーターを主力としているだけに、インパクトは強烈だった。「売上高がドーンと半分になった。計算すると、毎月100億円の赤字が出る。3年くらいはこの状態が続くかもしれない。計算上では、アウト。360年間やってきた会社が、ついにパーヤ」。こっちは永守の母の立場である。母タミは永守の人格形成において、決定的な影響を与えている。永守は母の寝顔を見たことがない。家族の誰よりも早く起きて、誰よりも遅く寝た。貧乏で苦しんだが、近隣の田畑を買い、地元で有数の地主になった努力の人だった。日本電産の社訓（「情熱・熱意・執念」「知的ハードワーク」「すぐやる、必ずやる、できるまでやる」）も、すべてが母の教えからきている。母を抜きに食いが下がって永守に、母は最後「起業を決めたとき、タミは猛反対した。了解を求めて必死に食い下がる永守に、母は最後に言った。「会社を起すなら、人の情働くな。情働かないと、成功できない。人並みに働いて成功なんて絶対ない」と。

これや。これしかない。母親の教えに反るのだから緊急対策のイメージが突如、浮かんだ。生産性を2倍にし、損益分岐点を大幅に引き下げ、売上高半減でも黒字を出せる体質に変える。そうすれば、売上高がピーク水準に回復した時

には、利益が倍増する。そのために、今、2倍働こう。途方もないシナリオである。そうやってこの危機を乗り切った。

目標とするハードルがあまりにも高いところから、ユニークの柳井正、ソフトバンクの孫正義と3人で、「ホラ吹き三兄弟」として業界の敬愛と注目を浴びる人物である。（ウィキペディアを参考）（下線・太字は八幡）👍👍👍👍👍👍👍👍

